

備前市事務事業評価表

事務事業名	特定目的基金積立金	コード	06-01-07-03	担当課係	財政課 財政係
事業実施期間		担当者	佐藤行弘	電話	0869-64-1810
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行財政運営			
	小項目	財政			
	施策	安定した財政基盤の構築			

事業について	
目的	社会福祉事業の促進及び生活環境の整備その他公共施設の整備などの市の振興事業の財源とするため、備前市振興基金を積み立てる。
対象 (誰のために)	基金の目的に沿った事業を実施する市内各部署、施設を利用する市民
内容	振興基金の運用益の積立

事業の結果	17年度					
実施項目	回数など (単位)		回数など (単位)		回数など (単位)	
振興基金積立	4回					
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計	市債	合計	市債	合計	市債
必要人員	0.05	人				
結果指標①	結果指標名	振興基金積立				
	結果指標量	4				
	単位	回				
	対前年比	—				
	事業費	300,000	円			
結果指標②	結果指標名	振興基金残高 (千円)				
	結果指標量	18,973				
	単位	千円				
	対前年比	—				
	事業費		円		円	

事業の成果			
成果指標名	振興基金残高 (千円)	式又は説明	基金の目的に沿った成果を発揮するために必要となる原資を積み立てる。
成果指標量	17年度 18,973		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100,000	到達目標年度	平成22年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	基金の目的とする事業は市が行うべき事業であり、その財源を確保することは必要である。その財源を単年度で確保することは現在の財政状況では困難であるため、基金を積み立てることは有効である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
	市の関与の妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	事業コストは人件費のみであるため、短時間で処理できるよう事務作業マニュアルの作成によってコスト削減を図る。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	現状は基金の運用益を積み立てるだけであるが、将来の事業のために、毎年一定額を積み立てる必要がある。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E> D
コメント	目標とする基金残高となるよう、毎年一定額を積み立てる必要があるが、その財源も無いのが現状である。	

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	4	結果指標量②	
目標値 成果指標量		40,000千円	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	基金積立財源の確保	H19~	基金の目的事業に充当する財源を確保できる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。